



# 木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業 (農林水産省連携事業)

平成28年度要求額  
700百万円(1,800百万円)

## 事業目的・概要等

### 背景・目的

- 我が国では、伐採されながら利用されずに森林内に放置されている未利用間伐材等の未利用資源を持続的かつ安定的にエネルギーとして利用することが重要であるが、未利用資源の調達や加工・運搬に伴うコスト、効率的な熱エネルギー有効利用方法等の課題があり、未利用資源の有効的な利活用ができていない。そのため、それらの課題を考慮した実証事業を通して木質バイオマスを利用した「木質モデル地域」づくりを推進し、低炭素社会の実現を図る。

### 事業スキーム

- 委託対象：民間団体、地方公共団体等
- 実施期間：平成25年度～28年度  
※継続課題のみ実施

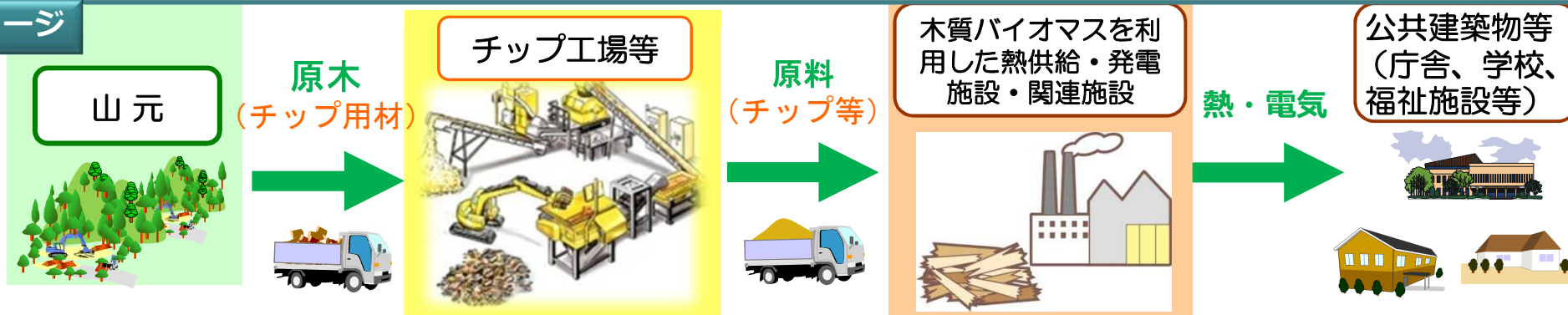
## 事業概要

- 原木の加工、燃料の運搬、木質バイオマスのエネルギー利用等を行うための施設をリース方式により一体的に導入し、9つのモデル地域づくり実証事業を実施。
- 加工・運搬に伴うコスト低減に資する移動式チップパーの活用、商品価値の低いバークや抜根をチップ加工せずにそのまま焼却炉に投入できるボイラーの導入、熱エネルギーを高温蒸気から廃熱まで多段階で最大限活用する熱のカスケード利用等の実証を行う。
- 各実証モデルにおける得られたメリットや課題等を集約・整理し、それらのモデルの成果を公表する。

## 期待される効果

- 施設の導入・運用を通じて得られたメリットや課題、その克服方法等の成果をとりまとめて公表することにより、全国において木質バイオマスを活用したまちづくりの推進が図られる。

## イメージ



「木質モデル地域」において、山元から発電まで  
木質バイオマスエネルギーの利活用に関する技術を実証

地域資源の循環  
(森林資源の有効活用と再生)

低炭素社会の実現  
(カーボンニュートラルの木質資源利用)